

ファミリービジネス：永続のための工夫

株式会社フィーモ

代表取締役 大澤 真

email: makoto.ohsawa@fe-mo.com

homepage: <http://www.fe-mo.jp>

facebook: <https://www.facebook.com/femo.ohsawa>

長寿ファミリービジネス大国日本

- **創業200年以上の企業**
 - 全世界で8000社。 **日本では3000社。**
- **長寿の秘訣:明確な理念**
 - **利他の精神：社会的信頼のベース**
 - **長期的視点と不易流行**

ファミリービジネスの係争事例

- **大塚家具**
- **ロッテ**
- **赤福**
- **林原**
- **セブン&アイ**
- **出光興産**

何故もめるのか？

- **コミュニケーション不足**
 - 「あうんの呼吸」への過度の依存
 - 心理的・地理的距離の大きさ
 - 被害者意識の高まり：不要な憶測が亀裂を拡大
- **ルール不在**
 - 声の大きい人間が独断で決定：リーダーとして当然との過信
 - 信を託されても説明責任は残る
 - 意思決定の根拠・プロセスが不明確

「事業永続」のための三つの柱

- **一時点の承継ではなく世代を超えて**
 - **定例的なコミュニケーションの場としての「家族会議」**
 - **家族がもめないための基本ルール：「家族憲章」**
 - **事業と家族のバランスのとれた長期的発展を担保する組織：「ファミリーオフィス」**

第一の柱：家族会議

- **最高意思決定機関**
 - 定期的に開催することで緊密なコミュニケーションを確保
- **メンバー：主要株主**
- **意思決定：原則は全員一致**
- **ファシリテーターの役割：中立的第三者**

(参考) ファミリー懇親会

- ・メンバーを配偶者や次世代に拡大
- ・経営者から直接話を聞く
- ・理念の継承
- ・後継者候補の教育

第二の柱：家族憲章

- ①家族としての理念・価値観
- ②家族会議：円滑な意思決定・情報共有
- ③経営上の意思決定への関与
- ④後継者育成と入社ルール
- ⑤自社株式承継・買収等に関するルール
- ⑥自社株式以外の資産の運用・管理
- ⑦懲罰ルールと紛争解決プロセス

第三の柱：ファミリーオフィス



ファミリーオフィスの機能

- ・ 家族会議の運営
- ・ 私的支出および資産の運用・管理（公私の分離、専門知識の提供）
- ・ 後継者育成（そのための資金の提供）
- ・ 株式相続・買収資金提供
- ・ 事業会社への投資（専門知識の提供）

作り方次第
で節税効果